

わたしを離さないで

カズオ・イシグロ 著 土屋 政雄 訳
早川書房（ハヤカワ epi 文庫）2008 年

2017 年にノーベル文学賞を受賞したカズオ・イシグロの代表作である。特別な事情を抱えた子どもたちを育てる施設ヘールシャムでの生い立ちから人生の後半までが、主人公キャシーの穏やかな回想で描かれる。幼い記憶をたどり思春期を経て大人になっていく過程が丁寧に語られ、読者は追体験していく。そして、彼女たちの残酷な生き方が少しずつ明らかになっていく。

「自分は誰なのか」「なぜ生きているのか」「人間の尊厳とは」重たい問いかけである。私が大学院生だったころ、アウシュビッツ—旧ナチスの強制収容所に行った時のことを思い出した。私たちが大切にしている人間尊重の価値観は、20 世紀の多くの過ちとともにやっと手に入れた人間の知恵である。しかし、それは想像するよりずっと簡単に「わたしたちから離れていく」のかもしれない。「ベイビーベイビー、わたしを離さないで」と歌うキャシーに心を揺さぶられる。

木村 太一（学生相談室）